



スタジオでの風景(無題/2023年/陶、無題(のびゆく、そして)/2021年/水彩紙に墨)

シリーズ  
陶の表現

# 進藤詩子展

2024/3/16 sat → 5/26 sun

横浜市民ギャラリーあざみ野 エントランスロビー 観覧無料

主催：横浜市民ギャラリーあざみ野(公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団)

●3月25日(月)、4月22日(月)休館 ※事前の広報から日程が変更になりましたのでご注意ください。

Showcase Gallery

# 陶の表現 シリーズ 進藤詩子展 Showcase Gallery

横浜市民ギャラリーあざみ野のアトリエには陶芸窯があり、ワークショップや作品制作等に活用されてきました。この活動を踏まえ、2021年より陶の作品を制作する新進作家を紹介するシリーズ展を開催しています。本年は、日常に潜む「翻訳不可能なもの」に着目し、ドローイングによる抽象表現を出発点に、近年、陶を使ったインスタレーションに取り組む進藤詩子の新作を展示します。

## 進藤詩子 SHINDO Utako

### ●ステイトメント

日常の風景に潜在する「翻訳不可能なもの」を一時的に現し、そして鑑賞者のうちに詩的な経験と内省を促すような、美術・造形作品の在り様を探究しています。近年は、水彩・墨を用いた抽象絵画や、唾嚙<sup>つぐろく</sup>挽きの抽象陶芸の制作に取り組んでいます。どちらも「線、陰影、呼吸」といった要素と「中心をとる(軸を合わせる)」工程が繰り返されますが、それらが「揺らぐ」とこととの関ぎ合いから生まれるイメージや形は、時に、普段の言葉では捉えきれない何かと重なるようで、私自身を驚かせます。

### ●略歴

1980年東京生まれ。制作と研究を両輪に国内外で活動。2017年メルボルン大学大学院ヴィクトリアン・カレッジ・オブ・ジ・アーツ付属ザ・センター・フォー・アイディアズ博士課程修了。2018年度文化庁新進芸術家海外研修制度研修員。主な個展に2022年「the night falls and the day breaks」5.gallery(アメリカ)など。滞在制作に2020年遊工房アーツスペース(東京)、2013年Bank ART NYK(横浜)など。企画・出展に2010-12年「内在の風景」小山立車屋美術館(栃木)／国際交流基金ギャラリー(オーストラリア)など。  
<http://www.utakoshindo.info/>



Photo: Benjamin Hosking

### 進藤詩子展 関連ワークショップ 紙と陶に描く「いつかどこかの風景」

心に浮かぶ「いつかどこかの風景」を紙と陶に描く、ドローイングのワークショップです。初回は紙に筆で、焼成前の小さな陶器に白い化粧土で、風景を抽象的に描きます。初回後に陶器は焼成し、2回目は、紙の作品と陶器を組み合わせて置き、思い通りに「風景」を眺めます。

- ① 2024年3月20日(水・祝) 10:00~15:00
- ② 3月30日(土) 13:00~15:00 (全2回)

【講師】進藤詩子

【定員】中学生以上15名(応募者多数の場合、抽選)

【参加費】2,500円(材料費・焼成代込、全2回分)

【申込締切】2024年2月28日(水)必着

【申込方法】直接来館(横浜市民ギャラリーあざみ野2階事務室)またはホームページ(下記QRコード)よりお申し込みください。

※事前の広報から日程が変更になりました。※2024年2月1日(木)から2024年3月11日(月)まで臨時休館のため、直接来館によるお申込みができませんのでご注意ください。

●保育あり。講座時間中に一時保育(事前予約制、対象年齢:1歳6カ月~未就学児)をご利用いただけます。

※2ヶ月~1歳5ヶ月児の保育につきましてはご相談ください。



### 横浜市民ギャラリーあざみ野

開館時間 9:00-21:00(毎月第4曜日休館)  
※最新の開館状況につきましては、横浜市民ギャラリーあざみ野のホームページをご確認ください。

〒225-0012 横浜市青葉区あざみ野南1-17-3  
アートフォーラムあざみ野内  
TEL:045-910-5656 / FAX:045-910-5674  
Email:info@artazamino.jp URL:https://artazamino.jp/

【最寄り駅】東急田園都市線「あざみ野駅」東口 徒歩5分  
横浜市民営地下鉄「あざみ野駅」1・2番出口 徒歩5分  
【駐車場】27台(有料・予約制) TEL:045-914-5910

